

甘味資源部会懇談会による現地調査の概要

でん粉原料用かんしょの生産状況、でん粉の製造状況について、甘味資源部会懇談会による現地調査を実施。概要は以下のとおり。

- 1 日時：平成 26 年 8 月 1 日（金）～ 2 日（土）
- 2 場所：鹿児島県
- 3 参加委員：5 名

【委員】

中嶋 康博 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授（部会長）
市川 まりこ 食のコミュニケーション円卓会議 代表
三石 誠司 宮城大学食産業学部 教授

【臨時委員】

矢野 泉 広島大学大学院生物圏科学研究科 准教授

【専門委員】

平田 勝造 日本甘蔗糖工業会 会長

4 概要

（１）でん粉工場の現地調査

- 創立 昭和31年
- 従業員 13名
- 原料処理能力 13,500トン／年
- 製品製造能力 4,000トン／年
- 経営の特徴
 - ・ 平成25年産のでん粉製造量約3,000トンを糖化用・化工でん粉用として、主に全澱連を通じて全農に販売を委託。一部食品向けとして直接販売。
 - ・ 平成25年産の集荷量は約10,000トンであったため、集荷量を増やすため多収品種であるダイチノユメを推進。ダイチノユメのバイオ苗を低価格で農家に提供することにより、普及に取り組む。

(2) でん粉原料用かんしょ生産者との意見交換

○ 参加生産者

かんしょ農家（鹿屋市）

- ・ 経営規模 でん粉原料用かんしょ5.0ha、キャベツ0.3ha、さといも0.2ha、早期水稻0.4ha
- ・ 子息と共同経営
- ・ 自走式いも類収穫機の導入により、作業の機械化体系を確立

かんしょ農家（鹿屋市）

- ・ 経営規模 でん粉原料用かんしょ1.8ha、キャベツ0.4ha、とうもろこし0.4ha
- ・ 輪作により畑地を有効活用
- ・ バイオ苗を利用

○ 意見交換の概要（中嶋委員、市川委員、矢野委員参加）

（生産者による冒頭説明）

- ・ 最高年齢 80 歳の生産者もいるが、かんしょ農家も高齢化でリタイアが進んでおり、年5～6名がリタイアしている状況。
- ・ 最近、農業が大規模化して、焼酎原料用かんしょでは、生産のほか作業受託や集荷の面積も含めると、100ha～200ha クラスの経営の法人も出てきている。
- ・ TPPで外国から安いでん粉が入ってくるような状況になればとても太刀打ちできない。いつまで1俵（37.5kg）当たり1,400円という値段が続くのか、今以上の下落が心配と農家の間でも話をしているところ。
- ・ 父親の健康状態もあり、跡を継いで農業を始めた。ようやく農業にも慣れ、現在は親の経営とは別にかんしょ・キャベツ等を作付けしている。
- ・ 最近では、青果用のキャベツに力を入れている。気候の変動の影響等もあり難しい状況ではあるが、工夫しながら取り組んでいるところ。

（中嶋委員）受託作業としては、どのような作業が多いのか。

←（鹿児島県）「耕うん」と「うね立て」がほとんどである。

（中嶋委員）「バイオ苗」とは何か。また、誰が苗を作るのか。

←（鹿児島県）バイオ苗とは、ウイルスフリー苗（茎頂点培養苗）のこと。一般苗と比較すると、いもの形状も良く、収量も2割程度増加。農家は、業者より種芋用のバイオ苗を購入し、自ら増殖している。

（中嶋委員）でん粉原料用かんしょだけで経営を成り立たせるためには、どの位の面積が必要と考えられるか。

←（生産者）経費が10a当たり労働費抜きの資材費だけで3～4万円かかるため、でん粉原料用かんしょだけではなく、やはり複合経営が良いと考えている。10haになると雇用が必要となってくるので、雇用を加味した上で経営としてどうなるか考えなくてはならない。

（中嶋委員）連作障害を回避するという点でも複合経営の方が望ましいと考えられるのか。

←（生産者）複合経営でキャベツ、ダイコン等加えていった方が良い。

（市川委員）高齢化でやめていく人がいる時に、一方で積極的に規模拡大を図ろうという若い人はいるのか。

←（生産者）規模を拡大して効率化を図ろうとは考えているが、一人では今の規模が限界。今後、通年雇用の導入等労働力の確保について考えていく必要があり、少々悩んでいるところ。

（市川委員）でん粉原料用かんしょの作業の中で一番手間がかかる作業は何か。

←（生産者）植付作業。

（市川委員）この地域ではでん粉工場は多いのか。統廃合で少なくはなっているが、まだ結構あるという印象。

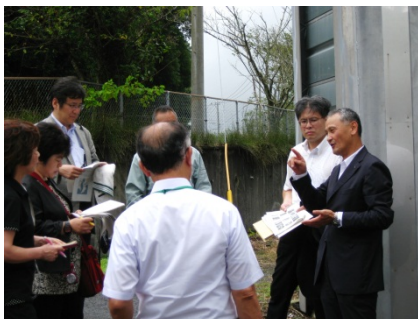
←（三和工場）大隅地域は、大規模なでん粉工場が多い。

（矢野委員）代表農家がまとめて出荷しているとのことだが、お二人とも代表農家ということか。

←（鹿児島県）然り。

（矢野委員）こういった政策があったら良いというものが何かあるか。

←（生産者）安定的な価格制度を実施して欲しいということになるのではないかな。



工場調査の様子①



工場調査の様子②



意見交換の様子

※ なお、8月2日（土）に種子島にて、製糖工場・さとうきびほ場等を調査予定であったが、台風の影響により中止。